

## 小樽市北西部地域包括支援センター

### 総括

相談件数・給付管理数について、圏域内の人口減少等から横ばいもしくは減少と予想しておりましたが、昨年度よりも増加しています。相談内容も、個別支援よりも世帯での支援を必要としている事例が増えてきています。

事業が増えている分、職員間の情報共有と共通認識、事業の優先順位を意識し事業に取り組みました。

以下、事業計画における主な項目について報告いたします。

#### 1) 「総合的相談業務」

新規の相談として400件（前年358件）がありました。内訳として、「介護相談」が77%（前年度より↓）、「在宅医療介護連携」が10%（前年度より↑）、「生活・住宅・家族問題」が5%（前年度同）、「認知症の相談」が3%（前年度より↑）となっています。訪問相談を中心に支援しており自宅訪問件数延べ1016件（前年度より↑）。

開設当初からの継続事業として事業所版・地域版の広報紙を年3回発行しています。年度変わりには事業所版の中で、当包括支援センターの事業報告も行っております。

#### 2) 「権利擁護業務」

権利擁護に関する新規件数は4ケース（前年度5ケース）。

内訳は、虐待に関する相談件数は（心理的・身体的）4ケース（前年度2ケース）、多重課題を抱えた、高齢者のみならず世帯単位での支援を必要としている事例が増えていきます。

#### 3) 「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」

「運営推進会議等ネットワーク会議への参加」は36回（前年度より↓）、「地域ケア個別会議の開催」は1回（前年度より↓）、「広報活動」は8回（前年度より↓）、「研修会や会議への参加」は74回（前年度より↓）となっております。

市内主任介護支援専門員向けの小樽市地域包括支援センター事例検討会を開催しています。

#### 4) 「介護予防・日常生活支援総合事業 介護予防ケアマネジメント業務」

年度末の給付管理数は、313件（前年度309件）、予防給付・予防ケアマネジメントに関わる定期訪問件数は、3682回（前年度3550回）。

介護保険要支援・要介護認定調査は、167件でした。

地域版介護予防教室は圏域内7か所が自主運営しており、各教室年間3回（体力測定・講和・オレンジカフェ）介護予防担当者と生活コーディネーターが訪問しています。（サポーター数57名、参加者数約270名）

#### 5) 地域包括支援センター強化事業

「認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員」「生活コーディネーター」「在宅医療・介護連携」についても、それぞれに情報共有をしながら取り組んでいます。